

令和4年度 授業改善推進プラン 国語科 (大森第三中学校)

〈昨年度の授業改善推進プランの検証〉

★取り組みにおける成果と課題

・学習課題の文章を落ち着いて丁寧に読み、内容を正確に捉え、その内容に対して自分の思いをもつことを常に目指している。その基盤として、各授業での集中する雰囲気づくりを大切にしている。意欲的に取り組んでいく生徒が多くなっている。また、そのうえで、「文章を書く力」「発表する力」を伸ばしていくために、さらに表現する機会を増やしていく。今後も語彙を増やして適切に使えるようにし、内容を考えて表現に生かせるよう指導を継続する。

・話の意図を理解しようとする、「聞く意識」を身につける。意識づけのうえにリスニングテストを取り入れた結果として、メモを取りながら要旨をしっかりと聞き取る力がついてきている。

・機会を増やして、漢字や語句など、国語の基礎・基本的な力を定着できるよう努める。そのために、漢字ワークやプリント、小テスト、語句を用いた短作文などに取り組ませ、反復練習を継続する。苦手意識をもつ生徒を減らしていく。

・生徒の意欲を引き出すための指導、工夫を続けることを大切にする。

〈国語科の内容別結果の分析〉(区・学習効果測定)

内容	1年生	2年生	3年生
言語の特徴や使い方に 関する事項	○【漢字を読む】2つの設問において正答率が9割を越え、目標値を上回った。1つの設問(額ひたい)は目標値を下回った。 ○【漢字を書く】全ての設問でほぼ目標値を達しているが、「改革」の正答率に課題があった。 ○【文法・語句に関する知識】は、「敬語」「熟語の成り立ち」に関する設問では目標値を上回ったが、「連用修飾語」の理解では下回った。	○【漢字の読み】概ね目標値を上回り正答率も9割を越えているが「けいび」に関しては目標値、全国平均を下回った。 ○【漢字の書き】「志」「耕」の正答率は目標値を超えているが、「砂糖」に関しては目標値を下回った。 ○【文法・語句】全体的に目標値を上回った。	○【漢字を読む・書く】は、全ての設問において目標値を上回った。 ○【文法・語句に関する知識】は、敬語、類義語、対義語では目標値を上回ることができたが、用言の活用理解では目標値を下回った。
情報する扱 方 に 関 する 事項	○【情報と情報との関係を問う問題】では、2つの設問において、目標値を上回ることができ、文章の情報を理解できた。	○【情報と情報との関係を問う問題】では、2つの設問において、目標値を上回ることができ、文章の情報を理解できた。	○【情報と情報との関係を問う問題や文章と図表を結びつけることを問う問題】で、内容の解釈や表現の効果を問う問題では目標値を上回ることができた。しかし、文章を読んで理解したことを知識や経験と結び付け、自分の考えを深める問題に対しては、それぞれ目標値を下回った。
我が国 の 言 語 文 化 に 関 する 事項	○【ことわざの意味】の設問では、目標値に対して下回る正答率となった。	○【歴史的仮名遣い】の設問は目標値、全国平均ともに上回っている。	○【現代語訳を手掛かりに古典を読む問題、歴史的仮名遣いの理解を問う問題】では、目標値を下回り、苦手とする傾向がみられた。
話すこと・ 聞くこと	○【インタビューの内容を聞き取る】設問全体を通して、目標値を下回る正答率であった。特に、「意図に応じて、話の内容を捉え、適切な質問をしている」では、基準点を大きく下回る結果になった。 ○【身近な地域について調べて発表する】では、概ね目標値を上回り、自分の考えが伝わるように表現を工夫していた。	○2つの設問において目標値を上回った。 ○【話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考える】設問に関しては目標値を1.5ポイント下回った。	○【話の内容を聞き取る】設問では、論理の展開に注意して内容を聞いたが、特に「資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している」ことを問う問題で、目標値を下回った。
書くこと	○【文章を書く】設問では、目標値に対して正答率が全体的に高い。全ての項目において、目標値を上回ることができた。特に、「自分の考えを明確に」して書いていた。	○全体的に目標値を上回った。また、4項目は全国平均も上回った。	○【文章を書く】設問では、グラフから読み取れた内容の理解が不十分なのが気になるが、全体的に目標値を上回っている。「グラフからの読み取ったことを、数値を挙げて書く」の項目においてのみ、目標値を下回った。
読むこと	○【説明的な文章を読み取る】設問全体を通して目標値を上回った。特に、「文章全体の構成を捉えている」においては目標値を大きく上回った。 ○【文学的な文章を読み取る】2つの設問では、大きく目標値を上回ることができた。しかし、「文章の展開と結び付けながら、表現の効果を考える」ことは、目標値を下回った。	○【文学作品の内容を読み取る】全ての項目で目標値を下回った。 ○【説明文の内容を読み取る】2つの項目で目標値を上回ることができている。	○【文学的な文章の内容を読み取る】設問では、全体的に目標値を上回り、人物の心情を捉えられた。 ○【説明的な文章の内容を読み取る】設問では、逆に全体的に目標値をやや下回った。 ○【制服を洗う方法について調べる】設問では、内容の解釈や表現の効果を問う問題では目標値を上回ったが、文章から理解したことを記述で自分の考えをまとめることは、目標値を下回った。

〈国語の観点別結果の分析〉(区・学習効果測定)

観点	1年生	2年生	3年生
知識・技能	○【言語に関する知識】の設問で、「ことわざ」「文法」に関する今後の課題が見られる。「敬語」「熟語」への知識をさらに伸ばしていく。 ○【漢字を読む・書く】今回の結果だけでなく、書くことを中心に漢字学習に意欲的に取り組み、さらに定着させていく。 ○内容に関して興味をもち、理解しようとする姿勢はある。読書習慣はあるが、読書が苦手な生徒もいる。図書室などを有効活用し、興味をもたせ、本に親しむ機会を増やす。 ○今後に向けて、自分の考えを正確に表現するためにも、語彙力を高める努力をする。	○漢字学習にはよく取り組んでいるが、文章の中で使いこなせておらず、平仮名書きや誤字が目立つ。特に漢字を「書く」ことに関しては課題が多く残るため、毎授業の漢字テストなどを通し、漢字を「書く」習慣を身につけさせていきたい。 ○文法の知識が定着してきている。 ○読書習慣は浸透しているが、読書をするこゝろ自体が苦手な生徒も多数存在する。図書室などを有効活用し、本に親しむ機会を増やす。定期的に読解力向上に向けて短時間での課題学習を行っていく。	○【言語に関する知識】の設問で、用言の活用以外は目標値を上回る。「文法」の復習、再確認が必要である。 ○【伝統的な言語文化】に関してはやや苦手意識があり、今後読み慣れることで克服する。 ○【漢字を読む・書く】全ての設問において目標値を上回った。努力の成果として良い結果につながっている。 ○読書習慣は浸透しているが、読書をするこゝろが苦手な生徒もいる。【情報の扱い方・読み取り】を伸ばすためにも、図書室などを有効活用し、興味をもたせ、本に親しむ機会を増やす。 ○自分の考えを正確に表現するために、語彙力を鍛える。
思考・判断・表現	○【話す・聞く】に関して、集中して話し手の意図するこゝろ、内容を理解しようとする姿勢はあるが、結果にも表れているように集中して聞くことのできない生徒もいる。また、内容をわかりやすく相手に伝えようと努力もできるが、表現の方法や話の構成については課題が残るなど、今後努力していく点がある。 ○【文章を書く】に関して、目標値も上回り、自分の意見を書くことは比較的できている。苦手意識をもつ生徒に意欲をもたせる。 ○内容を理解したうえで自分の考えを表現するという力が足りない面もある。 ○【読む】に関して、丁寧に文章に触れて、内容を正確に捉えることを目指す。	○聞くことについては集中して話し手の意図するこゝろ、内容を理解しようとする意識が高い。 ○話すことについては、一生懸命話そうとする意識はあるが、スピーチ等で原稿を暗記して発表するなど、伝えようとする力、順序立てて相手に伝える力が不足している。 ○書くことに関しては文章の構成や段落についての理解は高まっているが、順序立てて文を構成することを苦手とする生徒が目立つ。	○【話す・聞く】に関して、目標値をほぼ達するものの、聞かれた内容を聞かれている幅で答えることが苦手な生徒が多い。勝手な判断でなく、正確に聞き取る力を身につけさせる。スピーチ、発表等で、周囲に分かりやすく聞き取りやすい話ができるよう、取り組む機会を増やすことを目指す。 ○【文章を書く】に関して、目標値も上回り、より良い文章に仕上げようと努力を重ねる生徒も多い。課題について考えを深め、構成を工夫して書く力を伸ばすことを目指す。自分の考えをわかりやすく伝えることを意識させる。 ○【読む】に関しても目標値を上回るが、内容を正確に捉え、その内容に対して自分の思いをもつことを目指す。
主体的に学習に取り組む態度	○落ち着いた、学習意欲の高い生徒が多い。発言はとも積極的であり、授業への取り組む姿勢も良い。課題に対しても意欲的に取り組む生徒が多く、ワークやノートにも丁寧な記述が見られる。 ○前向きな取り組みを評価し、発問の仕方を工夫し、何より意欲を持続させる。	○何事にも一生懸命で、授業に対しては前向きな姿勢を見せる生徒が多い。課題などに自主的に取り組む生徒も多い反面、授業中の集中力に欠ける生徒もいる。小テストなどには特に意欲的である。	○【主体性】に関する設問も目標値は上回り、授業に前向きな姿勢をもつ生徒は多い。集中力が続かない生徒の意欲を喚起すること、自分で課題を考え進めることを目指す。 ○小テストや提出物に意欲的である。地道に努力して覚えたり、考えたりする作業を避ける傾向はあるので、粘り強さをもつことが大きな課題である。

〈国語科の課題と具体的な授業改善策〉

	課 題	具体的な授業改善策
1年	○筋道を考え、話す、書く姿勢と力をつける。 ○文章表現に注意して必要な情報を的確に読み取り、聞き取る力を高め、適切な表現方法で表す力を身に付ける。 ○小学校学習漢字の復習を行い、中学校で習得すべき漢字の定着を図る。 ○文法の知識を定着を図る。	○様々な文章を書く機会を増やし、それを発表する機会を通して、書くこと、話すことの充実を図る。また、課題を設けて書くことから、構成やテーマを意識して書く力を養う。 ○漢字は定期的に小テストを行い、練習を繰り返すことにより、定着を図る。確実な習得につながるよう、工夫を重ねる。 ○文法の知識を定着させるため、積極的に演習問題や確認テストを行う。
2年	○話の意図を理解しようとする、「聞く意識」を身に付ける。 ○自身の意見を考案する際に、順序立てて筋道を考え、意見を要約して話す(書く)力をつける。 ○読解力向上を目指す。 ○漢字の知識の定着を図り、知識の習得とともに語彙力の向上をねらう。	○グループワークやプレゼンテーション等発表の機会を増やす。 ○折に触れて作文を書かせ、「書く」という作業に対する抵抗を少なくしていく。 ○読解問題に特化したプリントを作成し、定期的の実施する。 ○漢字テストを毎時間行い、反復練習により定着を図る。
3年	○文章を落ち着いた丁寧な読み、内容を正確に捉え、その内容に対して自分の考え・思いをもつ。 ○話の意図を理解しようとする、「聞く意識」を身に付ける。 ○筋道を考え、相手に分かりやすく「話す」、「書く」力をつける。 ○漢字、文法の知識の定着を図り、使える語彙力の向上を目指す。	○自分の考えを正確に表現するために、語彙力を高める場面を作る。 ○単元別や漢字などのテストを定期的に行い、反復練習により定着を図る。 ○文章を書く、発表する機会を増やす。 ○読み慣れることで古典の苦手意識を克服する。 ○粘り強く課題に向かう姿勢を意識させる。